

コンビニ納税導入を 実施に向け検討に着手



納税相談に応じる収納対策窓口

櫻井立志 議員(公明党)

①市民の利便性向上のため、土曜、日曜や夜間に関係なく、いつでも納付ができる「コンビニ納税」の導入について、市民へのサービス向上の考えは、市民部長 軽自動車税の特定税目に限って徴収率が向上するよう、昨年から検討に入っている。②地球温暖化防止対策

が、来年度も引き続き、取り組みを他校にも更に、広げていきたい。③環境にやさしい、太陽光を利用したソーラーLED街路灯を主要な施設や道路等に設置してはどうか、市の考えは、安心まちづくり室長コスト面において実用化には難しいが、今後、省エネ等環境に配慮した製品も比較検討、研究していきたい。④防災対策として、要

「特産」新規生産者に支援を 初期投資に補助

井上薫 議員(共産党)

①特産「ナス」後継者育成の具体的な内容を示せ。経済環境部長 共同出荷を行う新規「ナス」生産農家を対象に、初期投資に対する助成として、動力噴霧器、台車、コンテナ、支柱苗などを対象として平成20年産作付準備から補助を考えている。②2011年7月24日までにアナログ放送を終了し、デジタル放送計画が進められている。デジ



特産「田辺ナス」の栽培

タルTVを見るには⑦テレビの買い換え⑧デジタルチューナー⑨UHFA⑩テナの調整⑪テレビ録画機の買い換え等の対応が必要となり、設備、工事費の負担が重くのしかかる。特に生活保護世帯や高齢者、障害者、また難視聴地域などの対応は、総務部長 市では国などの要請に基づきチラシなどによって周知を図ってきた。本市域では受信

できない地域はないと認識している。デジタル化について経済的な問題が、一番大きいと考えている。⑤興戸地域の住宅開発にかかる避難通路建設が

相談窓口をつくり対応する。保健福祉部長 生活保護世帯、高齢者世帯の経済的負担については全国的な問題であるので、当面、国、近隣市の動きを見ていく。⑥

夕涼みのつどい再開を 代替え事業を支援

奥村良太 議員(緑政会)



夕涼みのつどいで打ち上げられた花火

①夕涼みのつどいについて、再開する考えは、京田辺市規模での盆踊り大会等みんなで出来る行事や祭を子供たちに残していきたい。花火大会を楽しみにしていた一人として再検討して欲しい。経済環境部長 実行委員会において休止が決定、ボスト夕涼みのつどいとして、新田辺東商店街を中心に商工会、観光協会等が実行委員会を作られ、17年度からキラフェスティバルが開催されており、市も支援している。②コミュニティバスについて、補正予算で公共交通のあり方に関する調査費が計上されているが、どのような調査をするのか。調査結果はいつ出るのか。結果に基づいて今後の方向性をどのように考えるか。安心まちづくり室長 本市の駐輪場は14カ所、盗難は、監視が行き届かないところが多発。監視体制の強化、1000円パークも含め、十分調査検討したい。④市民税、固定資産税の納期は年4回。国保税と同様に10回にできないか。市民部長 市税条例に基づき4期に定めており、納付月も両税重複しないように設定。納税相談等柔軟な対応を行っている。また府が主体となり統一的方法を議論されている。

観光政策の振興を 市も取り組み、支援する

南部登志子 議員(緑政会)



大御堂観音寺と菜の花畑(普賢寺)

①昨年の9月議会で学校給食の民間委託について質問したところ、2007年度からの導入を目指す方向で弁護士と相談している。⑦用地取得に必要な境界確定を関係者と協議している。とはできない。民間委託の時期はいつになるのか。業者選定をどうするのか。また、正規の調理師がない現場をどうするのか。教育部長 現在必要な施設整備等も含め全体の導入計画を策定中で、来年度早々にも公表、保護者等への説明を経て、推進したい。業者選定は、一般競争入札なりプロポーザル方式なりで検討。正規調理師のいない現場には、支援がないよう免許を持った人を配置する。②中学校では、恒常的に弁当を持ってこない生徒がいる。小中学生の食事の実態調査を行い、必要ならば給食弁当の実施を検討していただきたい。教育部長 中学生の食生活の実態調査は2学期中に実施の予定。小学生については今後検討する。給食弁当の実施は、実態調査の結果を見て研究する。⑥本市には南部から北

のではないかと考える。たとえば駐輪場を100円または50円で有料化としてはどうか。安心まちづくり室長 本市の駐輪場は14カ所、盗難は、監視が行き届かないところが多発。監視体制の強化、1000円パークも含め、十分調査検討したい。④市民税、固定資産税の納期は年4回。国保税と同様に10回にできないか。市民部長 市税条例に基づき4期に定めており、納付月も両税重複しないように設定。納税相談等柔軟な対応を行っている。また府が主体となり統一的方法を議論されている。